

クロルピクリン・D-Dくん蒸剤 ソイリーン	取扱メーカー： サンケイ＊、三井アグロ、一農 原体メーカー： 三井アグロ、エス・ディー・エス
成分： クロルピクリン〔PRTR・1種〕……………41.5% 1, 3-ジクロロプロペン〔PRTR・1種〕……………54.5%	性状： 淡黄色澄明液体 毒性： 劇物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険物等級Ⅲ

【品目特性】……………

- クロルピクリンの刺激臭が低減されており，臭化メチル代替剤として，露地だけでなく施設内でも使用できる。
- クロルピクリンとD-Dが土壤中でガス化して隅々まで浸透し，センチュウ，病害，除草効果を示す。
- クロルピクリンとD-Dの相互の働きで，センチュウが引き金となる複合病害に高い防除効果が期待できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 処理は，液漏れ，液だれがなく，正確に注入量を調整できる土壤消毒機を使用する。
- 作業中に薬液の漏れがないように，土壤消毒機の配管とその他の装置の事前点検を十分行う。
- 注入処理と同時に被覆する機能を備えた土壤消毒機を使用することが望ましい。
- 畑内に残っている茎葉や根等（特に病気やセンチュウにおかされたもの）は，できるだけ取り除く。
- 処理は，ガスが土中で十分拡散するよう耕起，碎土を十分行い，丁寧に整地してから処理する。耕起直後はガスが抜けやすいため，しばらくたって土壌がおちついてから処理する。
- 土中でのガスの拡散は，土の湿り気のある時，すなわち土を握って放すと割れ目ができる程度の時に注入するのが最適である。
- 処理は，30cm間隔のチドリ状に深さ約15cmの位置に所定量注入し，直ちに覆土し，地表面をポリエチレン，ビニール等で必ず被覆する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 生育中の作物には薬害を生じるおそれがあるので使用しない。
- 温度が低いと本剤のガス化が悪く，十分な効果が得られないこともあるので，なるべく地温が7℃以上の時使用する。
- 薬剤処理は作付の10～15日前に行ない，作付の1～2日前に畑を耕起して十分にガス抜きを行う。地温が低い場合には，注入から作付けの期間をさらに1週間程度長くする。ガス抜きが不十分な場合には，薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- うり類は薬害を生じやすいので，ガス抜きを特に念入りに行う。
- 処理後，大雨があったり，土壌が重粘土質で通気の悪い所は，ガス抜きを特に念入りに行う。
- 処理後，未消毒の土なるべく混入しないよう注意する。
- 消石灰などのアルカリ性肥料の施用直後に本剤を処理すると作物に有害な物質を作り，薬害の発生するおそれがあるので，このような肥料はガス抜き後に施用するか，又は本剤処理の10日以上前に施用する。
- 他剤と混用しない。特にカーバム剤及びカーバムナトリウム剤とは化学反応により，発熱し危険であるので，カーバム剤及びカーバムナトリウム剤使用後の散布器具等よく洗浄してから用いる。
- 金属腐食性があるので，使用後の注入器具その他は灯油でよく洗う。
- 製品缶に水が混入すると缶が腐食するおそれがあるので，製品缶には水を入れない。
- 土壤消毒機の薬液タンク（ポリタンク等）に移した薬液は水分を含んでいる可能性があり，製品

缶を腐食するおそれがあるので、残存薬液は製品缶に戻さず、使いきる。

【安全対策上の注意】

- 医薬外用劇物。取扱いには十分注意する。
- 誤って飲み込んだ場合は吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。
- 窒息性有毒ガスを発生するので、揮散したガスを吸い込まないように注意する。
- 使用中に身体に異常を感じた場合は、通風の良好な場所で顔を横に向け、体を暖め、頭部を冷やしながら安静にし、直ちに医師の手当を受ける。
- 催涙性の刺激を有し、眼、のど、鼻を刺激するので注意する。ガスが眼に入りひどく痛む時は、多量の水でよく洗い速やかに眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に強い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- ガス抜き作業の際は防護マスク、保護眼鏡を着用する。作業の際はガスを吸い込まないよう風向き等を十分考慮する。
- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 衣服等に付いた場合には、脱衣して他のものとは分けてよく洗濯し、本剤の臭気が抜けるまで身につけない。
- カブレやすい体質の人は取り扱いに十分注意する。
- 揮散ガスによる危被害を防止するため、本剤の処理は朝夕の気温の低い時間帯に行う。処理後直ちに、必ずポリエチレン等で被覆する。
- 住宅、畜舎、鶏舎周辺での使用では、以下の事項に留意し、被害発生防止に十分配慮する。
 - 高温期の処理をさげ、気温の低い季節に処理する。
 - 住宅、畜舎、鶏舎が風下になる場合又は低い場所にある場合、処理を控える。
 - 被覆資材は厚めの0.03mm以上のものを使用する。
 - 風の強さや向きが変わり、危被害を及ぼすおそれがある場合は、作業を中断する。
- ビニールハウス等の施設内で使用する場合、出入口、天窓、側窓等を開け通気をよくして作業を行う。

●処理後直ちにポリエチレン等で被覆したのち、施設を密閉し、臭気が残っている期間にはハウス内へ入らない。くん蒸後はハウスを開放し、十分換気した後に入室する。

- 魚類、甲殻類、藻類に強い影響を及ぼすので、河川、湖沼、海域及び養殖池に本剤が飛散、流入するおそれのある場所では使用しない。
- 危険物第四類第二石油類に属するので火気には十分注意する。
- 本剤は皮膚に対して強い刺激性がある。
- 火気をさげ保管する。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- 共通注意事項8. 適用作物群に対する注意事項を参照。



【適用と使用法】

作物名	適用病害虫名・ 適用雑草名	10 a 当り 使用量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含 む農薬の総使用回数	D－Dを含む農 薬の総使用回数
に ん じ ん	しみ腐病	30 ℓ (1穴当り 3 ml)	作付の 10～ 15日前 まで	1 回	耕 起 整 地 後, 30 cm 間 隔のチドリ 状に深さ約 15 cm に 所 定量を注入 し, 直ちに 覆土し, ポ リ エ チ レ ン, ビ ニ ー ル等で被覆 する。	1 回	1 回
ご ぼ う	ネグサレセンチュウ	20～30 ℓ				2 回以内	
	ネコブセンチュウ	(1穴当り 2～3 ml)				(床土1回以内)	
す い か	黒あざ病	30 ℓ				3 回以内	
	つる割病	(1穴当り 3 ml)				(床土1回以内, 圃場2回以内)	
黒点根腐病	ネグサレセンチュウ	20～30 ℓ				2 回以内	
	ネコブセンチュウ	(1穴当り 2～3 ml)				(床土1回以内, 圃場1回以内)	
メ ロ ン	黒点根腐病	30 ℓ				1 回	
	えそ斑点病	(1穴当り 3 ml)					
	つる割病						
だ い こ ん	パーティシウム黒点病	20～30 ℓ				2 回以内	
	ネグサレセンチュウ	(1穴当り 2～3 ml)				(床土1回以内, 圃場1回以内)	
	ネコブセンチュウ					2 回以内	
は く さい	黄化病	30 ℓ				3 回以内	
	根くびれ病	(1穴当り 3 ml)				(床土1回以内, 圃場1回以内)	
キ ャ ベ ツ	苗立枯病	30 ℓ				2 回以内	
	(リゾクトニア菌)	(1穴当り 3 ml)				(床土1回以内)	
未成熟そらめ	ネグサレセンチュウ	20～30 ℓ				3 回以内	
	ネコブセンチュウ	(1穴当り 2～3 ml)				(床土1回以内, 圃場2回以内)	
な す	青枯病	30 ℓ				1 回	
	(1穴当り 3 ml)					2 回以内	
ト マ ト	萎凋病	20～30 ℓ				1 回	
ミニトマト	ネグサレセンチュウ	(1穴当り 2～3 ml)				2 回以内	
	ネコブセンチュウ					(床土1回以内)	
き ゆ う り	つる割病	30 ℓ				2 回以内	
	ホモブシス根腐病	(1穴当り 3 ml)				1 回	
	ネグサレセンチュウ	20～30 ℓ				2 回以内	
ビ ー マ ン	ネコブセンチュウ	(1穴当り 2～3 ml)				1 回	
とうがらし類	青枯病	30 ℓ				2 回以内	
	立枯病	(1穴当り 3 ml)				(床土1回以内)	
か ぼ ち や						1 回	
こ ま つ な						2 回以内	
レ タ ス						1 回	
か ぶ						2 回以内	
豆 類	ネグサレセンチュウ	20～30 ℓ				1 回	
(未成熟, 但し, さやいんげん, 未成熟そらめ, さやえんどう, 実えんどうを除く)	ネコブセンチュウ	(1穴当り 2～3 ml)				2 回以内	
ほうれんそう	萎凋病					(床土1回以内)	
	ネグサレセンチュウ						
	ネコブセンチュウ						

作物名	適用病害虫名・ 適用雑草名	10 a 当り 使用量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含 む農薬の総使用回数	D－Dを含む農 薬の総使用回数
し ょ う が	根茎腐敗病	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)	作付の 10～ 15日前 まで	1 回	耕 起 整 地 後、30 cm 間 隔のチドリ 状 に 深 さ 約 15cm に 所定量を注 入し、直ち に覆土し、 ポリエチレ ン、ビニー ル等で被覆 する。	2 回以内 (床土 1 回以内)	1 回
葉しょうが	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
ね ん ぎ	白絹病	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)				2 回以内 (床土 1 回以内)	
さやえんどう 実 え ん ど う みょうが(花穂) みょうが(茎葉) に が う り	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				1 回	
オ ク ラ	苗立枯病	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
	立枯病	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				1 回	
パ セ リ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
セ ル リ ー	萎黄病	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
	そうか病 青枯病	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				1 回	
ばれいしょ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
かんしょ	立枯病	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				1 回	
さ い も	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
やまのいも	根腐病 褐色腐敗病	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				1 回	
	炭疽病	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
い ち ご	萎黄病	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				1 回	
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
こんにゃく	根腐病	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				1 回	
き く	半身萎凋病	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				1 回	
ス ト ッ ク	萎凋病	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				1 回	
チューリップ	球根腐敗病	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				1 回	
カーネーション	萎凋細菌病	30 ℓ (1 穴当り 3 ml)				3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)	
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)				1 回	

作物名	適用病害虫名・ 適用雑草名	10 a 当り 使用量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数	D－Dを含む農 薬の総使用回数
トルコギキョウ	根腐病 立枯病	30ℓ (1穴当り3mℓ)	作付の 10～ 15日前 まで	1回	耕起整地 後，30cm 間隔のチドリ 状に深さ 約15cmに 所定量を注 入し，直ち に覆土し， ポリエチレ ン，ビニール 等で被覆 する。	3回以内 (床土1回以内， 圃場2回以内)	1回
花き類・ 観葉植物 (ストック， チューリップ， きく， カーネーション， トルコギキョウ を除く)	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20～30ℓ (1穴当り2～3mℓ)					
たばこ	ネコブセンチュウ 立枯病	(畦内土壌注入) 1穴当り 2～3mℓ	作付の 30日前 まで		(畦内土壌注入) 畦立後，畦中央 の頂上から，30 cm間隔で，35cm の深さに所定量 を注入し，直ち に注入口をふさ ぎ，ポリエチレ ン，ビニール等 で被覆する。		
にんじん だいこん はくさい かぼちゃ オクラ ばれいしょ かんしょ さといも やまのいも こんにゃく 豆類 (未成熟，但し， さやいんげん， 未成熟そらめめ， さやえんどう， 実えんどうを除く)	一年生雑草	20～30ℓ (1穴当り 2～3mℓ)	作付の 10～ 15日前 まで		耕起整地 後，30cm 間隔のチドリ 状に深さ 約15cmに 所定量を注 入し，直ち に覆土し， ポリエチレ ン，ビニール 等で被覆 する。	1回	

作物名	適用病害虫名・ 適用雑草名	10 a 当り 使用量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含 む農薬の総使用回数	D-Dを含む農 薬の総使用回数
ご ぼ う ほうれんそう し ょ う が 葉しょうが な す みょうが(花穂) みょうが(莖葉) に が う り さやえんどう 実えんどう	一年生雑草	20～30 ℓ (1 穴当り 2～3 ml)	作付の 10～ 15日 前 まで	1 回	耕 起 整 地 後， 30 cm 間隔のチド リ状に深さ 約15cm に 所定量を注 入し，直ち に覆土し， ポリエチレ ン，ビニー ル等で被覆 する。	2回以内 (床土1回以内)	1 回
メ ロ ン キャベツ 未成熟そらめ						2回以内 (床土1回以内， 圃場1回以内)	
す い か ト マ ト ミニトマト き ゆ う り ピーマン とうがらし類 い ち ぎ ね ぎ セルリー さやいんげん 花 き 類・ 観 葉 植 物						3回以内 (床土1回以内， 圃場2回以内)	